

Sunbrella
magazine

夏号

2024 JULY

Vol.8

サンブレラ

コミュニケーションマガジン

(株)サンブレラ 代表取締役 日笠 伸之

当社はナーシングホーム事業をまもなく開始します。既に有料老人ホーム・サ高住・グループホーム・デイサービス・訪問(介護・看護)事業を行っているため、ほぼワンストップで医療・介護領域において地域の方々のお役に立てることとなります。これを機に改めて現場力について考えてみました。

～ここに「いる」安心。「いる」を守る責任。～

2025年には、団塊の世代が後期高齢者になるが、その人数はおよそ800万人。社会保障関連費の増加に加え、介護人材の不足は容易に想像できる。当社も例外なく、人材の確保は重要な課題であり、体制・環境づくりを進めていかなければならない。

人手不足によるサービスレベルの低下を招かないために、日本人スタッフと併せて外国人採用も早くから進めている。現在の当社外国人スタッフの出身国は、東南アジアを中心に5カ国。大きなトラブルもなく利用者様との関係も概ね良好である。先日、ベトナム人スタッフの1人が、介護福祉士試験(国家資格)に合格という嬉しい出来事があった。しかしこれはスタッフの資質によるも



スタッフ合格祝い

のが大きく、会社としての体制・環境づくりが十分だとはまだ言い難い。

サービスレベルの担保においては、移乗支援・移動支援・見守り支援などの介護ロボットの活用も必要になってくるだろう。これらを上手く活用することで、スタッフの業務負荷が軽減され、その分よりきめ細やかな人の手によるサービスに力が注げる。しかし、活用にあたっては、高額な導入コストや故障リスク・操作の経験値・カメラやセンサー管理によるプライバシー問題などの課題も多くある。

介護サービスには「知識・技術・思い」が大切である。「知識と技術」は日々の業務を通じて蓄積され、また介護ロボット等の活用しながら概ね確保できる。しかし「思い」はそれだけでは補えない。志を共にする仲間との良好な関係性や連携による成功体験なども必要になってくるだろう。そのため当社は、初めてチームビルディング研修を実施した。参加者からは仲間と連携することの大切さに気付き、参加したことで事業所や社歴などの枠を超えた横の繋がりが持てたとの声を聞くことができた。今後もこういった研修の機会を持ちたいと思う。

利用者様の“ここに「いる」安心”のために“「いる」を守る責任”を私たちは果たさなければならない。地域において、医療・介護領域を担う者として、必要とされ続けるために。

お知らせ



デイサービス
花の音

2024年8月
リニューアル
OPEN



デイサービス花音は、現在の吉備中山事業所(西辛川)から白石へ移転し、リニューアルオープンいたします。現在の20名より定員を30名へ拡大。機能回復訓練の機器も今までより充実しています。より一層、安全・快適・楽しくお過ごしいただけるよう取り組んでまいります。

住所: 岡山県岡山市北区白石546-1
TEL: 086-284-8585



ナーシングホーム
サンブレラ
— 倉敷水江 —

2025年2月
オープン(予定)



2025年2月のオープンに向けて準備を進めております。イオンモール倉敷や当社酒津事業所からも近い、利便性が良い立地です。24時間365日、看護師と介護スタッフが常駐しており、医師の指示のもと、医療的なケアも可能となります。

住所: 岡山県倉敷市水江1195-2(イオンモール倉敷すぐ近く)
TEL: 086-476-2833(開設準備室)



「介護福祉士(国家資格)」に合格した
ド ヴァン チュン

●スタッフインタビュー

Q1. なぜ日本で介護の仕事をしたと思ったのですか？

高校生の時に日本のアニメに興味を持ち、日本へ行きたいと思うようになりました。介護の仕事を選んだのは、人と接する仕事なので日本語が上手になるだろうということと、将来ベトナムの両親の介護ができればと思ったからです。ベトナムの介護サービスは日本に比べてまだまだ進んでいません。当初、両親はベトナムにいて欲しいと言っていましたが、私は行きたい気持ちを伝え話し合い、日本に来ること決めました。今では応援してくれています。

Q2. 介護福祉士(国家資格)試験合格に向けてどんな勉強をしたのですか？

試験に出てくる言葉は専門用語が多いので難しかったです。でも私は、サンブレラで技能実習生として3年間介護の仕事の経験があったので、集中した試験勉強は半年くらいです。日本語の勉強は日本に来てからもずっと続けています。合格がわかった時は嬉しくて、ベトナムの両親に一番に報告をしました。

Q3. どんなことにやりがいや大変さを感じていますか？

利用者様から「ありがとう」と言ってもらえると、自分のさせてもらったことが役に立ったのだと感じて嬉しくなります。例えば、入浴介助の後、「〇〇さん、ありがとうございます」と声をかけると「こちらこそありがとうございます」といったやり取りです。

大変さは感じませんが、利用者様の言葉や気持ちがわからないことがあるので、もっと理解できるようになりたいと思っています。

サンブレラには様々な国の外国人スタッフもいますし、日本人スタッフがとても優しくサポートしてくれて

いるので、困ることはありません。でも日本に来てはじめての頃は、言葉や漢字がわからなくて、買い物に行った時、油と酢を間違えて買ったことがあります(笑)。

Q4. 利用者様と接する時に気を付けていること・大事にしていることは？

一番は尊敬です。その気持ちが大事だと思います。その他には、話し方です。ゆっくり、少し大きな声で話すようにしています。

Q5. 将来の目標を教えてください。

利用者様の気持ちをもっと理解できるように、日本語能力を上げたいです。N1の取得を目標に毎日勉強をしています。日によって長い日も短い日もありますが(笑)。いつかベトナムに帰ったら、日本で身に付けた介護の知識と経験を活かしたいと思います。でも、まだまだ日本で頑張ります。

●上司から見たチュンさん

Q1. チュンさんはどんな方ですか？

本当に心の優しい人です。そして、勤勉で謙虚。他の実習生に上手く指示が伝わらなくて困っていると、チュンさんが間に入って、ベトナム語で仲間に伝えるなど、仲介・調整役を進んでしてくれます。また、利用者様へ寄り添う気持ちが人一倍あり、上から目線的な言葉はまず使いません。分からないことがあれば、事前に対策を考えたり、相談をしてくれます。当初から利用者様と接する時に「痛くないですか？」などの声掛けが自然にできていて感心します。

Q2. チュンさんに期待することは？

今の優しさを持ち続けて欲しいです。また、外国人・日本人問わず、他のスタッフから目標にされる人になって欲しいですし、きっとそうなると思います。



左:ケアマネジャー
中村 朋子
右:ド ヴァン チュン

●お祝いの食事会

ド ヴァン チュンさんの国家資格合格と酒津事業所の開設当初からご活躍くださった最年長で御年80歳の山口洋子さんの卒業をそれぞれ祝いました。社長から、これからへのエールとこれまでの功績への感謝が伝えられ、素敵な時間となりました。



国家資格
合格祝い



山口洋子さん
卒業祝い



●管理職研修(香川県直島)

今年の春、新しい試みとして各サービスの管理職を中心に組織開発・チームビルディングをテーマにしたレクリエーション型研修を実施しました。この研修は座学ではなく、ワークショップ形式で、参加者がテキストといった相互学習です。

今回は、フェリーに乗って直島へ渡り、自然とアートに触れながらの実施でした。そのため、リフレッシュもでき、リラックスした雰囲気の中で気づきを得られたのではないかと思います。講師から出される様々な課題を通じ、「いかに思い込みをしていたか」「上手く人に頼らず、“自分”が“自分”がとなっていた」「仲間をもっと頼ればいい」などの感想が聞かれ、チームの意義を頭で理解するだけでなく体感することができました。ライフラインチャート(人生曲線)という課題では、入社してからの時間を幸福度という尺度で1本の曲線に表し、その時に何があり、どんな感情であったかを振り返り、参加者同士でのシェアタイムでは、共感する内容が多くあり、心の距離も縮まったようでした。

●ごぼう先生と健康活動

当社では利用者様にお楽しみいただけるよう、ほとんどの事業所にカラオケ(DAM)を設置し、カラオケだけではなく、健康・介護に関するコンテンツの利用もしております。特に毎食前の口腔体操は欠かせません。ご高齢の方は食事や唾液での誤嚥が懸念されます。口腔体操は、摂食・嚥下機能や構音機能の低下を予防し、食べ物を咀嚼して飲み込むまでの動きをスムーズにする効果が期待できるため、必ず実施するようにしています。

このようなコンテンツの中での口腔体操を始め、全国で様々なエクササイズを広く指導されている「ごぼう先生」をデイサービス和音へお招きしました。

また、研修の振り返りでは、「異なるサービスや事業所で勤務しているスタッフとは互いに遠慮もあり、横の連携があまり取れていなかったが、今回繋がりが持てたことは大きな成果。同じ会社の管理職同士、連携していきたい。」との声があり、後のアンケートでも同様の声が寄せられました。

普段は、介護領域の教育をオンデマンド教材の導入により実施しており、各自が時間を調整しながら学習に取り組んでいますが、組織として活動する以上、所属意識・チームワークに関する気づきも重要です。そのためには定期的に対面でコミュニケーションが取れる学びの機会も必要だと参加者が証明してくれたと捉えています。今後も継続的に実施し、チームビルディングに加え、各自のコミュニケーション力が向上することで、働きやすさ、利用者様へのサービスレベルの向上につながっていくことを期待します。



利用者様は、画面の中のインストラクターに直接会えることを大変喜んでくださいました。こういったサプライズも楽しい刺激となり、健康につながるものと積極的に取り組んでおります。



※構音障害・・・口や舌、声帯など声を出すのに重要な役割を果たす部位に障害が生じ、うまく発声ができなくなった状態
※ごぼう先生・・・高齢者の「衰え」予防・健康体操の普及・指導者。かいごの「ご」よぼうの「ぼう」から「ごぼう先生」と命名。

12月



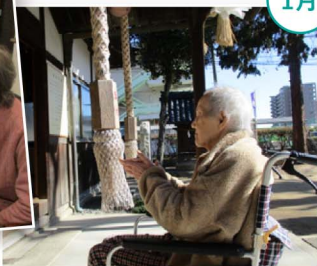
12月



1月



1月



2月



2月



3月



3月



4月



4月



5月



5月



【12月】

操南事業所では、職場体験の中学生や地域の方との交流会など外部の方と接する機会が持てました。他にもクリスマス会やお正月の準備など、楽しくも忙しい日々を過ごされました。

【1月】

元旦にはお節料理で新年をお祝いし、カルタや福笑い、おみくじや絵馬に抱負を書かれるなど、お正月らしい時間を過ごされました。中庄事業所では、初詣にも出かけました。

【2月】

節分の日には「恵方巻」を手作りし、今年の無病息災を願いながら一緒に美味しくいただきました。また、鬼に扮したスタッフを目がけて「鬼は外!福は内!」と元気に豆まきをしました。

【3月】

ひな祭りに因んだ色々なゲームをしたり、お雛様・お内裏様の顔出しパネルを持って記念撮影をして

楽しめました。ひし餅風のちらし寿司などひな祭り献立も好評でした。

【4月】

お天気の良い日にお花見に出かけ、綺麗な桜を観て癒されました。他には夏の収穫に向けて野菜を植えたり、花壇の手入れをしたりと屋外での活動を楽しめました。

【5月】

端午の節句や新茶の季節に因んだゲームをしました。デイサービスでは、鯉のぼり饅頭に兜パイ、ホイップクリームや餡子・ジャムなどトッピングの楽しい「どら焼き作り」も楽しめました。

この他にも、外部から招いた音楽療法士による音楽療法やアロマセラピストによるフットマッサージも好評です。また日々のエクササイズや地域の方々との交流などをされて、毎日元気に楽しくお過ごしいただいております。

サンブレラ事業所一覧

□番町事業所	サービス付き高齢者向け住宅 スローリビング 番町 街なかデイサービス 和音	岡山県岡山市北区番町1-10-4	TEL 086-237-1113
□御津事業所	住宅型有料老人ホーム スローリビング 御津	岡山県岡山市北区御津高津1787-1	TEL 086-724-1223
□吉備中山事業所	住宅型有料老人ホーム 和楽リビング 吉備中山	岡山県岡山市北区西辛川323-15	TEL 086-284-8585
□青江事業所	住宅型有料老人ホーム スローリビング 青江	岡山県岡山市北区青江1-6-10	TEL 086-237-8600
□原尾島事業所	住宅型有料老人ホーム スローリビング 原尾島 ケアプランセンター クローバー	岡山県岡山市中区原尾島3-6-8	TEL 086-273-0077
□倉富事業所	住宅型有料老人ホーム サニーライフ 倉富	岡山市中区倉富501-1	TEL 086-277-0330
□操南事業所	グループホーム パラソル 操南	岡山県岡山市中区藤崎136-26	TEL 086-230-0501
□総社事業所	住宅型有料老人ホーム サニーライフ 総社	岡山県総社市駅南1-2-18	TEL 0866-90-0330
□倉敷酒津事業所	住宅型有料老人ホーム 和楽リビング 倉敷酒津 A館 住宅型有料老人ホーム 和楽リビング 倉敷酒津 B館 住宅型有料老人ホーム 和楽リビング 倉敷酒津 新館	岡山県倉敷市酒津2747-1 岡山県倉敷市酒津2722-1 岡山県倉敷市酒津2723-8	TEL 086-421-8116
□倉敷中洲事業所	住宅型有料老人ホーム 和楽リビング 倉敷中洲 A館 住宅型有料老人ホーム 和楽リビング 倉敷中洲 B館	岡山県倉敷市安江547-2	TEL 086-430-4466
□倉敷中庄事業所	グループホーム パラソル 倉敷中庄	岡山県倉敷市中庄2371-1	TEL 086-441-8077
□白石事業所	デイサービス 花音	岡山県岡山市北区白石546-1	TEL 086-284-8585
□野田事務所	ヘルパーステーション ハンズケア 訪問看護ステーション ソレイユ	岡山県岡山市北区野田3-1-18	TEL 086-250-3551

表紙デザインについて

この広報誌の表紙には、障がい者アート作品を使用しています。障がい者アートの純粋で無垢な魅力を活かしながら、福祉作業所で働く方々の収入ややりがいや働きがいの向上を目指すといった団体の活動に賛同し、採用を決めました。当社も社会の一員として、サステナブルな社会の実現を微力ながら参加したいと考えています。尚、同団体は、IAUD国際デザイン賞2020を受賞しました。ますますの活躍と発展を祈念いたします。

※国際ユニヴァーサルデザイン協議会(IAUD)は、「ユニヴァーサルデザインの更なる普及と実現を通して、社会の健全な発展に貢献し、人類全体の福祉向上に寄与すること」を基本理念として活動する団体。IAUD国際デザイン賞2020は、世界14か国からエントリー。

編集後記

ナーシングホームは、一般的な老人ホームでは困難な医療処置や緩和ケア等に対応できる施設。長期的な療養が必要だが入院の対象とはならず、在宅でのご家族によるケアが困難な方は確かにいらっしゃるだろう。また、サンブレラは人材不足によるサービス低下を招かないために外国人採用も積極的だ。介護人材としての活躍は、我が国の助けであると同時に、介護先進国の我が国での経験がいずれ、母国で介護サービスが必要となった時に役立つだろう。サンブレラは、着実に地域におけるエッセンシャルカンパニーになっていると感じた。(YS)